

令和3年度 月形町立月形小学校 グランドデザイン

日本国憲法
教育基本法
学習指導要領
教育関係法規
北海道教育の基本理念
空知管内教育推進の重点



【月形町教育行政執行針】
確かな学力の育成
国際理解力の育成
豊かな心と健やかな身体の育成
安全・安心な環境づくり
地域とともにある学校づくり

目指す学校像

- 元気な挨拶が飛び交い、笑顔が溢れる明るい学校
- 保護者や地域から信頼され、魅力ある学校
- 教師の意欲や創意が生かされ、教師力が高まる学校

目指す子ども像

- 進んで学び、考える力、表現する力を高めようとする児童
- 認め合い、支え合い、協力して行動しようとする児童
- 心と体の健康に関心を持ち、進んで体力を高めようとする児童

目指す教師像

- 教師のプロとしての専門性を高め合う教師
- チームワークで力を発揮できる教師
- 保護者・地域の思いや願いを真摯に応える教師

【研究主題】

自分の考えを持ち、主体的に話し合える児童の育成

コミュニケーション能力を養つ、

話し合い活動・対話的な活動を通して

【今年度の重点目標】 「共に認め合い、学び合い、高め合う子の育成」

- ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた教育活動の充実
- ② 自己有用感を生み、豊かな心を育てる集団生活づくりの推進
- ③ 地域とともに歩む、魅力ある学校づくり

重点取組事項		
①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた教育活動の充実	②自己有用感を育み、豊かな心を育てる集団生活づくりの推進	③地域とともに歩む、魅力ある学校づくり
<学力の向上> ・単元や1単位時間の終末を明確にした授業の構築（課題設定→まとめ→振り返り） ・ICTの効果的な活用 ・基礎的・基本的な「知識・技能」の習得の重視と、課題解決のため「思考力・判断力・表現力」の育成 ・3観点による指導と評価の一体化 ・学習規律の徹底とUDを基盤とした月小スタイルの確立 ・家庭学習・生活リズム推進週間の取組 ・加配教員等による個や習熟に応じた指導体制の強化	<豊かな心> ・考え、議論する道徳の授業の充実 ・読書活動の充実（図書館活用、コンクール取組） <体力の向上> ・新体力テストの調査・分析を通じた体力の実態把握と体育活動の一層の充実 ・1校1実践の活動を通じた運動習慣の確立 ・望ましい食習慣を養う食育の充実 <特別支援教育> ・交流学習の積極的な推進 ・困り感ある児童への組織的対応と支援の充実 <積極的な生徒指導> ・あいさつ指導の推進 ・子ども理解支援ツール「ほっと」を活用した実態把握と自己有用感を育む学級経営 <特別活動> ・話し合い活動の充実（コミュニケーション能力） ・異学年交流（学習・特活）の積極的な推進 ・キャリア教育の充実（キャリアパスポートの有効活用）	<地域と共にある学校運営の推進> ・PDCAに基づく学校改善の工夫 ・組織的機動的な校内体制と子ども達の支援体制の充実 ・社会に開かれた学校運営の推進 <「総合的な学習の時間」の活用> ・地域の人的・物的教育資源を積極的に活用した学びの質の向上 ・地域や外部機関と積極的に関わる場の設定 ・「地域学習発表会」による学びの成果の発信 <C・Sとの関わり> ・経営プランを共有した、経営改善と教育活動の充実 <小中一貫教育を見据えた取組> ・義務教育9年間の展望に立った中学校との連携の充実 ・月形町学校運営協議会の一貫教育部会や月形町教育振興会との連携強化
・全国学力・学習状況調査、標準学力テストにおいて正答率全国平均を上回る。 ・「授業がよくわかる」80%以上 ・「学年×10分」の家庭学習実施90%以上 ・「自分の考えを発表できる」80%以上	・「道徳での実践を生活に生かしている」80%以上 ・「運動が好き」80%以上 ・新体力テストで「柔軟性」「巧緻性」「瞬発力」全国平均以上 ・「学校は楽しい」90%以上 ・「いじめは許されない」100% ・「しっかり挨拶ができる」100%	・「学校は情報発信に努めている」90%以上 ・「体験的な学習が効果的」90%以上 ・小中連携事業の整理（現行の事業、発展すべき事業、今後必要な事業） ・指導方法の連携（学習・生活の規律、授業の展開方法、家庭学習の手引き） ・小中一貫教育実施校についての研修

家庭・地域・他校種との連携と協働

【家庭・地域・関係機関】

- ・PTA活動の活性化と効率化
- ・家庭と連携した望ましい生活習慣の形成（挨拶、返事、言葉遣い等）
- ・教育委員会、社会福祉協議会、SC等関係機関との連携
- ・家庭・地域の教育力や学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を活かした教育活動の質の向上

【園小中高の校種間】

- ・教師間による授業交流や園児・児童・生徒間交流の実施
- ・教育振興会による園小中高の連携に関わる部会研修と一貫教育を見据えた統一した指導内容の確立
- ・小1プロブレム、中1ギャップを防ぐ円滑な接続と引き継ぎ

信頼される学校づくり

- ① 教員養成指標に基づく人材育成（専門性・実践的な指導力の向上）
- ② 全学年授業公開による研修の充実（計画的・組織的）
- ③ 働き方改革の推進（業務改善の推進、勤務時間短縮）
- ④ 安心安全な学校づくり（危機管理意識の徹底、服務規律の遵守）

令和3年度 月形町立月形中学校 グランドデザイン

日本国憲法
教育基本法
学習指導要領
教育関係法規
北海道教育の基本理念
空知管内教育推進の重点

教育目標

たしかな学びを
進んで身につける生徒

人の心を大切にし
思いやりのある生徒

強い意志をもち
正しく行動する生徒

体を鍛え
よい習慣をめざす生徒

【月形町教育行政執行方針】
確かな学力の育成
国際理解力の育成
豊かな心と健やかな身体の育成
安全・安心な環境づくり
地域とともにある学校づくり

目指す生徒像

(1) たしかな学びを 進んで身につける生徒

- ・自ら課題を見つけ、その解決を目指し様々な工夫のもと解決を図ることができる。
- ・多面的創造的にものを見ることができる。
- ・自分に適した学び方を工夫できる。

(2) 人の心を大切にし 思いやりのある生徒

- ・それぞれの個性や立場を尊重でき、謙虚に他に学ぶことができる。
- ・友情の尊さを理解し、励まし合い高め合うことができる。
- ・勤労と奉仕を重んじ、社会の福祉と発展のために尽くそうとする。

(3) 強い意志をもち 正しく行動する生徒

- ・自然や社会の在り方の真実や真理を求めつつ、より良く生きようとする。
- ・法の精神を理解し自他の権利を重んじ義務を確実に履行し、社会の規律を高めようとする。
- ・集団の意義を理解し、役割と責任を自覚し協力し合って活動できる。

(4) 体を鍛え よい習慣をめざす生徒

- ・目標を持ち、日常的に心身を鍛えることができる。
- ・望ましい生活習慣を身につけ、節度と調和のある生活を行う。
- ・体力作りや健康安全的活動を豊かに工夫し、進んで活動できる。

【今年度の重点目標】主体的な学びの育みと地域と共に創る学校の実現

1 主体的な学びの育み…校内研修に基づく授業改善・対話的な学びの充実・家庭学習習慣の確立

2 地域と共に創る学校…明朗な挨拶を交わし合う生徒・学校教育目標の改訂の準備

- ・学校評価
- ・全国調査等に基づく生徒の実態
- ・新型コロナウイルス感染症対策
- ・GIGAスクール構想（文科省）
- ・「未来の教室」ビジョン（経産省）
- ・月形町コミュニティ・スクール
- ・小中一貫教育

経営の重点

- (1) 学校運営
- (2) 教育課程
- (3) 学習指導
- (4) 道徳教育
- (5) 特別活動
- (6) 総合的な学習の時間
- (7) 生徒指導・進路指導
- (8) 健康・安全指導
- (9) 学年・学級経営
- (10) 家庭・地域等との連携
- (11) 研修
- (12) 教育環境
- (13) 学校事務
- (14) 特別支援教育
- (15) 働き方改革の推進
- (16) 異校種連携の強化

信頼される 学校づくり

- ①教員養成指標に基づく人材育成（専門性・実践的な指導力の向上）
- ②全学年授業公開による研修の充実（計画的・組織的）
- ③働き方改革の推進（業務改善の推進、勤務時間短縮）
- ④安心安全な学校づくり（危機管理意識の徹底、服務規律の遵守）

今年度の重点目標達成のための主要方策（上段）と成果指標（下段）

校内研修に基づく授業改善	対話的な学びの充実	家庭学習習慣の確立
・研究主題「教科横断的な視点を意識した思考・判断・表現力の指導法の改善と評価方法の確立」を目指した実践研究に基づく授業改善を推進する。 ・全生徒の生活・学習状況調査に基づく指導改善を実施する。 ・全員の授業公開と三面協議法による授業反省を実施する。	・体育大会と学校祭の反省を異学年グループによる三面協議法で実施し、次年度への活用を図る。 ・話し合う活動を各教科や道徳、学活、総合的な学習の時間に取り入れ、アウトプット力の伸長と対話的な学びを充実させる。 ・はがき新聞の相互評価とそれを基にした改善方法の検討を継続的に取り組む。	・家庭学習のプランニング力を高め、確実な実施を図る。 ・予習・復習の実施率を高める教科担任による指導を継続する。 ・定期テストに合わせた「学習仕上げ期間」を充実させる。
・全国学力・学習状況調査において全国の平均正答率を上回る。 ・全校生徒アンケートの「授業で習ったことをただ単に暗記するのではなく、自分の言葉で組み立て直したり（再構築）、いろいろな組み合わせ（再構成）を考えている」の肯定的回答を7割以上ににする。 ・全校生徒アンケートの「先生方は授業の最後に学習内容を振り返る活動を設定していたと思う」の肯定的回答を9割以上ににする。	・全校生徒アンケートの「グループでの話し合い活動において、自分の意見をOUTPUT（発表・つぶやき・ささやき）するように心がけている」の肯定的回答を5割以上ににする。 ・全校生徒アンケートの「生徒の間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」の肯定的回答を5割以上ににする。	・全校生徒アンケートの「普段の家庭学習において、かたよりが出ないように計画的に勉強をしている」の肯定的回答を7割以上ににする。 ・全校生徒アンケートの「学校の授業の予習をしている」の肯定的回答を8割以上ににする。 ・全校生徒アンケートの「学校の授業の復習をしている」の肯定的回答を8割以上ににする。
明朗な挨拶を交わし合う生徒		学校教育目標の改訂の準備
・学校・家庭・地域で進んで明朗な挨拶ができる生徒を家庭・地域と連携して育てる。 ・生徒会を中心とした挨拶運動を充実させる。 ・挨拶の意義（社会的なコミュニケーション）について考える場面を工夫する。 ・大人が率先垂範し明朗な挨拶を交わすと共に、生徒だちに挨拶をすることの意義を伝える場面を持つことができた。 ・生徒会の「いじめゼロ運動の推進」の「あいさつ運動」を継続的に取り組む、自主的にさわやかな挨拶をする生徒が増えた。 ・学活や道徳、朝・帰りの短学活、学校行事等で挨拶の意義について考える場面を設け、進んで実践できる態度を高めることができた。		・家庭や地域の願いを受け止め、実質化・実効性のある学校教育目標の改訂に向けた準備を進める。 ・月形町教育行政執行方針や新学習指導要領の「育成をめざす資質・能力」の三つの柱に沿い、保護者や地域等の願いを受け止め、教育計画委員会の推進のもと組織的討議を丁寧実施し、学校教育目標の改訂の準備をすることができた。

家庭・地域・他校種との連携と協働

【家庭・地域・関係機関】

- ・PTA活動の活性化と効率化
- ・家庭と連携した望ましい生活習慣の形成（挨拶、返事、言葉遣い等）
- ・教育委員会、社会福祉協議会、SC等関係機関との連携
- ・家庭・地域の教育力や学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を活かした教育活動の質の向上

【園小中高の校種間】

- ・教師間による授業交流や園児・児童・生徒間交流の実施
- ・教育振興会による園小中連携に関わる部会研修と一貫教育を見据えた統一した指導内容の確立
- ・小1フロblem、中1ギャップを防ぐ円滑な接続と引き継ぎ